



みんなの力でみんなの幸せ

s a w a r a b i

# さわらび

5

May  
2007  
vol.409

医学  
講話

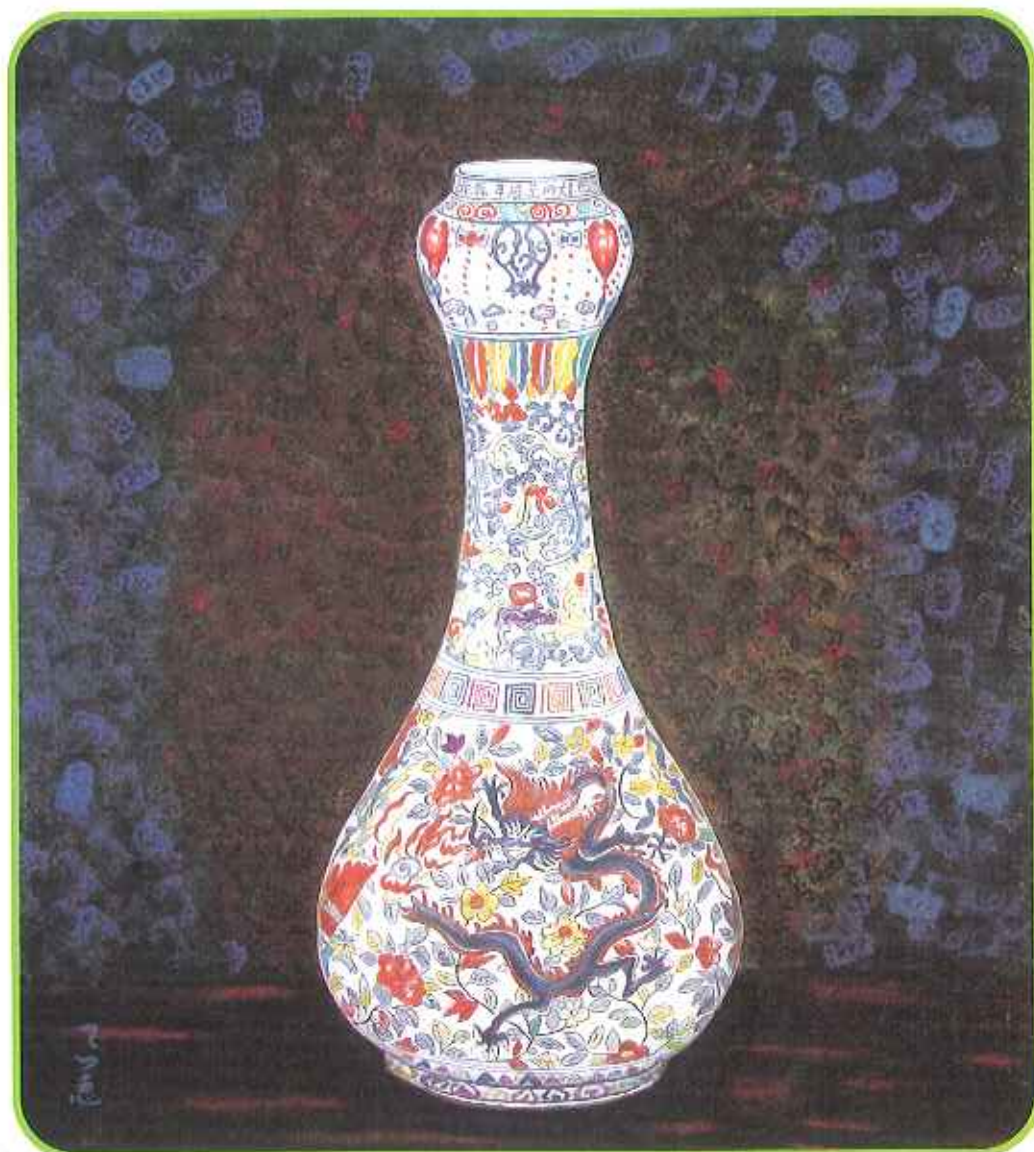
「生命維持機構としての分解系」

ジューゲム施設長・東京大学客員研究員 金井 芳之

特集

改正介護保険を振り返る

現場の取り組み一介護予防編



生命維持機構としての分解系



シゲオ 金井 芳之  
東京大学客員研究員

はじめに

我々の体は蛋白質、糖質、脂質に拘わらず常に合成とそれに見合った分解が行われ、生体の恒常性（ホメオスターシス）が保たれている。例えば合成過剰となれば肥満、分解優位であれば疲弊・消耗し、生命の危機を招来する。いま日本ではアメリカと同様、メタボリックシンドロームと称して、肥満対策にと、健康食品の商業戦争が展開されているほどである。生化学という学問は物質の合成と分解の機構の解明が研究対象である。分解系は合成系の研究に比べて、難しく古くから中々進展しない研究分野であった。本項ではこの

難問と云われる物質の生体内分解について、私の体験も含めて概説してみたい。

私と分解系との出会い

今から遙か昔、医師になって3年目の頃、東京大学医科学研究所で指導教官もなく、ひとりカタラーゼという肝臓にある酵素を精製していたが、埒が上がらず、困っていた。その時アメリカ留学帰りのバリバリの杉村隆先生（国立がんセンター名誉総長、文化勲章受章）が新設の研究部の教授で赴任された。先生は国立がんセンターと併任していて、そこには優れた研究者が沢山揃っているから、そちらで研究をするようにと奨めてくださった。厳しい、それは厳しい指導下で目的のカタラーゼが精製できた。先生は大黒鼠やハツカネズミが、がんになると肝臓のカタラーゼが失活し、それがトキソホル

モンというがん毒素によると提唱されていた。カタラーゼの精製に成功したため、先生はトキソホルモンと同様にカタラーゼを失活させる3-アミノトリアゾール（ATZ）（除草剤）を大黒鼠に注射して失活したカタラーゼも精製されるように指示されたが、それも巧くできた。生体内

で活性をなくしたカタラーゼと活性を持ったカタラーゼは分解速度に違いが有るのではないかと考えられた。先生曰く「物質合成の研究は沢山あるが、分解系の研究は少ない。失活したカタラーゼと正常のカタラーゼの分解速度をおまへの得意な免疫学的手法で調べてみないか？」ということを実験に着手した。正常のカタラーゼをウサギに注射して出来た抗体は失活したカタラーゼと同等に反応することを最初に確認した。次に<sup>125</sup>Iという放射能で標識されたATZを数匹の大黒鼠に注射した後、時間を追って肝臓をとり出し、それぞれの肝臓の抽出液に抗体を加え、放射能標識された失活したカタラーゼ

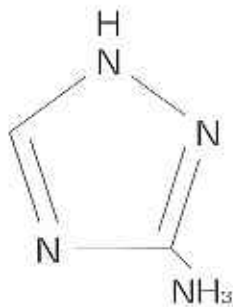
を分離した。正常のカタラーゼの標識は放射性アミノ酸を注射しておこなった。単離されたカタラーゼの放射能は液体シンチレーションカウンタで測定した。放射能の半減期から、失活したカタラーゼは正常のその数の数倍の速度で分解されることが分かった。この実験は今振り返ると極めてハードであったが、この結果は、流誌のJournal of Biological Chemistryに難なく受理され、暫し感激に浸ることができた。つまり生体内で不要になった蛋白質は迅速処理されることが初めて明らかにされたことが評価されたのである。

蛋白質分解系の仕組み

論文発表後、研究は第三の核酸と云われたポリADPリボースに移ってしまった。それはそれなりに新発見が続いたのであるが、分解系の研究をもっと続けていたらという思いは今でもある。少なくとも、どのような種類の蛋白質分解酵素（フロテアーゼ）が失活したカタラーゼの分解に関与するか、その機序を追究す

べきであった。というのは我々の論文発表の翌年の1974年、蛋白質の修飾分解に関与する低分子のユーピキチンと云う物質が報告された。しかし、その分子の機能が明らかにされたのは1980年代の初期であり、ユーピキチンはプロテアーゼに分解を指示するマーカーであることが分かった。蛋白質はアミノ酸と云う1次構造から出来ているが、機能を發揮するために3次構造と云われる立体構造を成している。これは建造物のようなもので、合成されてから時間が経つと微妙な構造変化がくるのである。そのほころびた部分にユーピキチンが何かの指令で共有結合する。ちなみにユーピキチンは生命の維持に不可欠な物質と理解されたらよいかと思う。1980年以前は生体内蛋白質はライソゾームという細胞内微小器官にあって、酸性側で働くプロテアーゼで分解されると考えられていた。ところが分解系の主役はプロテアソームと云う巨大な蛋白質でできた構造物であるこ

とが、ユーピキチンを発見した同じグループによって明らかにされた。ユーピキチンは円筒形になっていて、その上下は蓋状のもので塞がれている。このプロテアソームはユーピキチンで標識された不要な蛋白質を、一方の蓋で認識して、筒のなかへ取り込む、そしてアミノ酸または低分子ペプチドにまで消化されたところで、一方の蓋が開き外に排出される。このユーピキチン・プロテアソーム系という蛋白質の分解系を明らかにした業績で彼らは2004年にノーベル化学賞に輝いた。話を戻すと、物質の分解にはまだ多くの疑問は残るものの、前述のことで失活したカタラーゼも3次構造に変化を来し、ユーピキチン化されプロテアソームに取り込まれ、速やかに分解されたと考えられる。



### 生体内合成製品の品質管理

新しい蛋白質は細胞内の小胞体と云う所で合成されるが、全ての産物が完璧とは限らず、中には不良品もある筈である。これらは生体にとつて不利益？であろうから、このユーピキチン・プロテアソーム系で分解除去されると考えられる。ここで先何なのか少し考えてみたい。蛋白質にはN末端とC末端があるが、ユーピキチンのC末端にあるグリシンと云うアミノ酸が、分解標的となる蛋白質のリジンと云うアミノ酸と共有結合することが知られている。この発見の糸口は、細胞核に存在するヒストンというリジンに富んだ蛋白質を分解標的に使用したことにある。実に幸運にめぐまれたと云えよう。これも推測に過ぎないが、蛋白質の3次構造が壊れると、リジンが外側に突出し、ユーピキチン化されると考えられる。生命は冒頭で述べたように、ホメオスターシスで維持されている。その本体は物質分解系の調

節である。不良品はともかく、正常物質の寿命は半減期でみると、数分から数10時間と幅がある。一説にC末端がセリンでは20時間以上、アスパラギン酸では数分と云われる。しかし、その半減期を決めるのは何か、依然として謎である。

おわりに  
以上分解系をざっと眺めてみても、生命体の維持は深遠なるものであり、神のみぞ知る感を改めて覚える。ちなみに自己免疫病と云うのがあるが、最近、分解系の障害が原因の一つであることが分かって来た。我々の論文の中で自己免疫の一言を落としたのは惜しまれてならない。



## ◆ 副院長就任の挨拶

### 先端医療担当

### 副院長としての目標



福祉村病院 副院長  
岡田 秀 親

生命活動を分子レベルで明らかにするのが現代医学の本流ですが、生命現象の理解はマスコミなどが取り上げるほど簡単には進みません。遺伝子解析技術の飛躍的進歩により、遺伝子情報は簡単に得られるようになり、あたかも病気の治療法が飛躍的に進むような幻想があります。しかし、遺伝子情報はタンパク質のアミノ酸配列の情報に過ぎず、病気の機序に関するタンパク質の機能や構造に結びつけることができるのは遠い先の話です。

先端医療担当者としての基本理念は病態に関するタンパク質の機能を分子レベルで解析し、実際の病態と対

比させて医療技術の発展に貢献することです。アルツハイマー病などで亡くなられた患者さんご家族のご協力により、献体していただいた脳の組織をマイナス80℃に保存させて頂き、タンパク質や核酸の状況なども分子レベルで解析を15年にわたって続けています。この分野では、国内では最高のブレインバンクとして、多くの研究者との共同研究も実施されており、厚生労働省からの研究費の助成も頂ける様になって来ています。

その成果としてアルツハイマー病の発症や進行のメカニズムが明らかにできれば、それを防ぐ薬剤開発が可能になります。後で述べますアンチセンスホモロジーボックス理論を駆使して目的を達するペプチド剤を創生することも可能と考えています。ブタやサルの実験動物に投与して期待する治療効果が得られることを調べて、有効性が確認できれば先端医療としての新しい治療法となりうる。ことの検討を行える段階に入れるで

しょう。

タンパク質のアミノ酸配列と機能に関しては、アンチセンスホモロジーボックス理論は福祉村病院院長寿医学研究所が提唱した新学説として、次第に国際的にも認められてきています。その理論を活用して、敗血症の要因となっているアナフィラトキシンを防ぐペプチドの開発をしました。サルの敗血症病態モデルで治療効果が認められましたので、厚生労働省などの認可を得た上で敗血症患者さんでも治療効果が認められることを明らかにしたいと考えています。数年以内には敗血症の特効薬としての実用化を目指します。アナフィラトキシン阻害ペプチドは、脳梗塞の治療にも活用できるはずで、その治療効果を明らかにするために、カイザルでの脳梗塞の治療実験も開始しています。脳梗塞だけでなく心筋梗塞の治療にも活用できれば、日本人の寿命も一気に5年以上延ばせるので、福祉村病院の成果として輝くことにしたいと思います。

## ● 医療法人さわらび会

### 創立45周年記念

### 講演会

医療法人さわらび会は今年の8月15日で創立45周年を迎えます。45周年の記念式典として、2名の講師の先生方をお迎えし、45周年記念講演会を開催いたします。演題等詳細が決定しましたら、お知らせいたします。

#### 講師

特定医療法人共和会 共和病院

老年科部長 河野 和彦先生

国立長寿医療センター病院

包括診療部長 遠藤 英俊先生

#### 日時

平成19年8月18日(土)

13時30分～16時30分

#### 場所

ホテル アツシア豊橋

(豊橋市花田町西宿)



2007年4月12日講義

「認知症の介護」

福祉村病院 副院長 伊丸弘之

認知症介護の三原則

- 一、いつも温かい愛情と笑顔で
- 一、決して、しからず、制止せず
- 一、いまでできることをしていただく

この三原則には、現在認知症のケアで必要であるとされている重要なポイントが凝縮されています。従って、この三原則をマスターすれば認知症介護はそれで十分なのです。すなわち認知症の治療者として活躍できるのです。

認知症の介護は認知症の治療であるということはありません。上手に介護することで認知症に伴っておこる問題となる行動は少なくなるのです。2001年に日本

老年精神医学会の出版した「アルツハイマー病の診断と治療マニュアル」の中に、妄想や暴力などの認知症の行動障害へは第一に非薬物療法を実施して、それでも効果が無い時には薬物を使用すると明記されています。すなわち、認知症に伴う行動障害への治療はまず非薬物療法を行なうことなのです。

この非薬物療法というのは、本人にとってストレスの少ない快適な明るく楽しい生活環境が整っていることです。その環境整備をするための2本の柱が、「アクティビティブログラム」と「良い対応の仕方や接し方」です。アクティビティブログラムとは、本人ができることや楽しいと感じることを自由にやれるように環境を整えて、どんどんしてもらうことです。昔の楽しいことを思い出して話していただく回想法、趣味や好きなことをしていただく、残った能力を生かしてやれることを挑戦してもらおうなど、本人が集中したり、楽しんでいたりしてストレスを感じる時間を最小限にしようとする工夫です。

良い対応や接し方とは、本人の心理状態を思いやり、受け止め、理解して、本人を傷つけないように本人が安心して穏やかに生活できるように対応することを行います。認知症介護では、認知症介護の三原則を心に刻んで介護にあたれば、それが必要十分であると言えるのです。

2007年4月28日講義

「障害者自立支援法への移行」

しるがね 施設長 石黒 稔

平成18年度より支援費制度から障害者自立支援法に移行しました。その制度の特徴を考えていきます。

①三障害の一元化

今まで別々の法律で提供されていた知的・身体・精神の三障害のサービスが一元化しました。そのために事業所として、三障害の方の受入が可能となります。

②施設事業の再編

障害種別と目的によっていた複雑な施設体系が六つの日中活動事業に再編されました。介護給付での生活介護（福祉型）と療養介護（医療型）

訓練給付での自立訓練（機能訓練・生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型、B型）、地域生活支援事業における地域活動支援センターです。特に就労への支援が強化されました。

③地域生活支援事業の制度化

各市町村が地域で生活する障害者の方の実情に合わせて、相談支援や移動支援などの事業を実施していきます。

④日中活動と生活の場の分離

施設での二十四時間介護から制度的に脱却します。日中活動として上記の六つの活動と夜間・休日の生活の場を組み合わせていくことも可能となりました。

⑤多機能型事業

一カ所の事業所が現実の利用者の方に合わせて、多機能な事業を行うことができます。

新制度では、個別の支援計画に基づいたサービスが特に要求されます。利用者個々の変化と多機能なニーズに敏感に 대응していくための姿勢が事業所側には必要とされます。

## 自分達の生活は、自分達の力で… 珠藻荘自治会の挑戦

1月号にて紹介させていただきま

したが、身体障害者療護施設珠藻荘の荒川安章さんと稲垣ひとみさんは、ピア・カウンセラー（障害を持って

いるからこそわかる、障害者の不安や悩みを相談するカウンセラー）を

目指して勉強をしています。その中で、「この勉強を通して身につけた知識を珠藻荘のみんなの役に立てたい」という思いが生まれたそうです。

また、二人は珠藻荘自治会の役員をされており、日ごろから様々な活動や会議を行っておりますが、自治会や会議の席で意見を言わない方が多くいる現状を気にかけていました。「もっとみんなの考えを聞きたい。普段は意見を言えない人でも、個別面談なら本音を聞くことができるのではないかな？自分達の生活は自分達の力で作るという考えを、わかって欲しい。」という願いもあり、お二

人の提案で「施設利用者聞き取り調査」を行うことになりました。また、自治会長の佐藤行史さんも賛同され、意見の集計を中心に協力することに なりました。

この取り組みの一番重要なことは、「自治会役員による、自治会会員への聞き取り調査」であり、職員は記録係として付き添う以外は一切の関与を行わないということです。

こうして始まった聞き取り調査ですが、「職員には言いにくいこと」「利用者同士で話したかったこと」「誰にも言えなかった悩み」など、予想以上に多くの話が聞けているそうです。ただし、まだ一回日の聞き取り調査ということもあり、その内容は個人的な話や悩みの相談が多く「自分達の生活は、自分達の力で」という本来の趣旨に向けてどのように進めていくか、次のステップが見えてきました。

みんなの生活をよりよくするため、三人の挑戦は続きます。

## 自治会を活性化したい!!

荒川安章・稲垣ひとみ

ピア・カウンセラーの勉強で人の話を聞く姿勢を学びました。私たちはみんなの意見をもっと引き出して、自治会を活性化したいのです。自分たちの学んでいることをみんなのために役立てたくて、聞き取り調査を始めました。

言語障害のある方や人前で話すことが苦手な方は、自治会の席では意見を出すことができません。だから、個別面談では時間を気にせず相手のペースで話をしていたでています。現在は自治会役員が主導で様々な活動を行っていますが、自治会全体をもっと活性化し、よりよい珠藻荘にしていきたいと思っています。

こんな聞き取りを行っています。

### ●聞き取り調査の一例

Q 自治会に対して感じている事は？

A ●自治会費の繰越金で、みんなが楽しめる物を買いたい。

●声が聞き取りづらいので、マイクを使って欲しい。

Q 行事について意見はありますか？

A ●今のままでいい。

●季節に合った行事がもっとやりたいたい。

Q その他、何かありますか？

A ●こうした個別聞き取り調査がなければ、誰にも言えないままだった。これからは年に一回は行って欲しい。

●自立に向けたたりハビリを、もっとがんばりたい。



▲個別面談のため、普段は言いにくい意見も気軽に話せます。

✦ さわらび荘



介護士  
小林由貴  
いつも明るく



介護士  
村中美樹  
スマイル



栄養士  
柴田美樹  
一生懸命美味しい料理を作ります。



介護士  
北澤健太  
笑顔をやさしく仕事を頑張りたいです。



介護士  
片山麻実  
笑顔をやさしくがんばります。



介護士  
小長谷智美  
元気に笑顔でがんばります。



介護士  
山本紗弓  
一つづついいなりに頑張ります。



✦ 福祉村病院



介護士  
澤田大地  
とにかく頑張りたいです。お茶くみが好きです。



調理員  
芳賀舞  
笑顔だけがとりえですが、みんなの役に立てるようにがんばりたいです。

✦ ジュゲム



支援員  
太田知恵美  
頑張ります！

✦ あかね荘



支援員  
岸明日香  
元気に明るく頑張ります！



介護士  
村上公章  
笑顔で元氣よく頑張ります。

✦ 明日香



✦ しろがね



介護士  
若山桂子  
楽しんで頑張ります。



介護士  
小島美枝子  
愛情と笑顔で頑張ります。



介護士  
小木曾智子  
敬いの心で！



介護士  
榎山博子  
前向きに！



介護士  
古澤由佳  
笑顔でがんばります。



介護士  
豊田弥生  
元気に頑張ります。



介護士  
田中真佐美  
笑顔で頑張ります。



介護士  
中村裕樹  
元気に頑張ります。



介護士  
野々村実樹  
毎日笑顔で頑張ります。

●平成19年度新人職員紹介  
フレッシュパワーで  
みんなの幸せをめざします

医療法人さわらび会 社会福祉法人さわらび会

✦ 第二さわらび荘

## 特集

改正介護保険を振り返る  
現場の取り組み

## 介護予防編

改正介護保険が2006年4月に施行され、「介護モデル」から「介護予防モデル」へと大きく方向が転換され約1年が経過しました。さわらび会の各事業所や病院でもその間、利用者さんのニーズに対応できるような様々な取り組みを行ってきました。そこで改正介護保険を現場の取り組みを中心に振り返ってみたいと思います。

### 転倒予防への取り組み

最近転ぶようになったと感じる方はいませんか？ 普段から体操や運動、散歩などをして足腰には自信のある方もお見えでしょうが、年とともに確実に筋力は衰えますし、転倒した人に話を聞くとちまっとしたことが原因だったりします。

軽費老人ホーム若菜荘では、利用者個人の能力を見極めいつまでも元気で暮らしていただく目的で、高齢者が「寝たきり」となるきっかけの大きな原因（表1）の一つである転倒による骨折予防の取り組みとして毎年、健脚度測定を行っています。

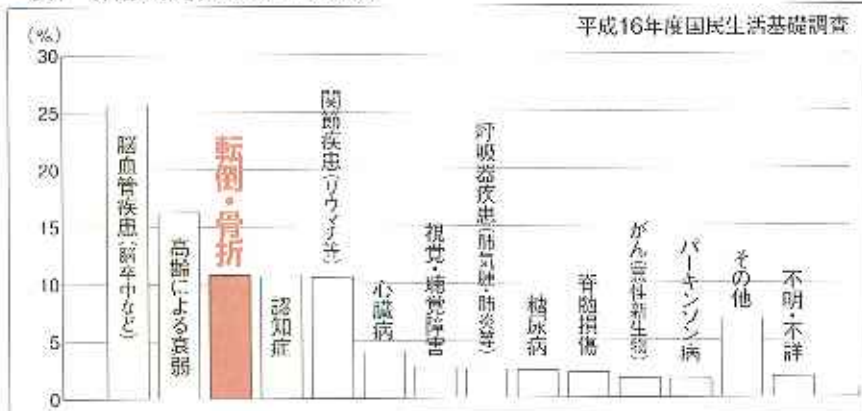
検査項目（表2）と結果（表3）は、表のとおりですが、結果は個人差がとて大きく10メートル全力歩行では、5秒程度で歩ききる方も見れば、30秒近く掛かる方も見えます。



●表2 検査項目

測定日	平成	年	月	日	
氏名					様
生年月日	大正	昭和	年	月	日
性別	男・女				
身長					cm
体重					kg
BMI					
	若菜荘 平均	データ	↓		
10m全力歩行					秒
最大1歩幅左					cm
最大1歩幅右					cm
下肢長・左					cm
下肢長・右					cm
10cm踏み台					○△×
つき足歩行					○△×
起居動作					○△×
特記事項					

●表1 介護が必要になった主な原因



●表3 検査結果

	10m全力(秒)	最大1歩幅左(cm)	最大1歩幅右(cm)
全体(85名)	10.32	74.4	76.0
男性(18名)	9.21	77.6	86.5
女性(67名)	10.63	73.5	73.2

	40cm踏み台	つき足歩行	起居動作
男性	○10 △3 ×5	○14 ×4	○16 △1 ×1
女性	○28 △11 ×28	○49 ×18	○62 △5
全体	○38 △14 ×33	○63 ×22	○78 △6 ×1

○できる △だいたいできる ×できない



検査によって利用者さん一人ひとりの状況や全体の傾向が把握できたり、急激な脚力の低下を早期に発見できたりしています。その検査結果をもとに、下肢の筋力を鍛え、歩行の安定を図る目的で「転ばない体操」

や「太極拳」などを取り入れていきます。また、転倒した人への調査もあわせて行っています。その結果「つまずいた」「バランスを崩した」「滑った」などが原因で転倒したケースが多く「もうちょっと足が上がっていただければつまずかなかった」「段になっていたのがわからなかった」などの理由を挙げる人が多いようです。

転倒した場所としては、「居室」を上げる人が多く、じゅうたんや布団などのちよっととした段差につまづいたり、電化製品のコードなどに引っかかりバランスを崩し転倒したとの回答が多くありました。

そこで若菜荘では結果を下に、表のような対策を立て現在では取り組んでいます。

要因	対策立案					
	●対策	●いつ	●どこで	●誰が	●何を	●どうする
居室内の整理整頓ができていない	指示及び指導する	居室点検日	各居室	介護士ヘルパー	居室清掃整理整頓	指示・指導する
入居者への啓蒙不足	会議で徹底	各階別会議及び懇談会で	各デイルーム及び食堂	職員	主旨を説明	入居者への呼びかけを行う
本人の自覚不足	個別指導の強化	回診時	医務室	医師 看護師	身体状況	補助具使用等の説明する
バリアフリー化が徹底していない	確認する	居室点検日(月1回)	各居室	職員	居室内整頓	確認指導する

## 口腔ケア

高齢者の口腔ケアは大切なことの一つです。口の中を清潔に保つことで、高齢者によくある「誤嚥性肺炎」の予防に繋がります。これは、唾液や食物を飲み込むときに、嚥下（えんげ）反射がうまくいかず、口内細菌が誤って気道に入ってしまう起きる肺炎のことです。夜間睡眠時に誤嚥してしまうケースもあります。

そのためにも3度の食事後に口腔内に食べ物が残り、細菌の繁殖を抑え誤嚥性肺炎を予防するためにも、口腔内を清潔に保つことが大切になります。

さわらび会の各施設では、医師や歯科衛生士と連携を取りながら口腔ケアに努めています。若菜荘では、4月12日に豊橋歯科衛生士専門学校同窓会様の協力で「歯の健康と入れ歯」についてのクイズや交流会を開催しました。当日は、普段何気なく行っている歯磨きの疑問などに気軽にお答えいただいたのと同時に、口

腔ケアの重要性を再認識することのできるとても良い機会となりました。



▲歯科衛生士の皆様による歯の健康クイズの様子

介護保険では、まだまだ定着していないと言われることの多い介護予防ですが、さわらび会の各施設・病院では今後も利用者の皆さんがいつまでも健康で長生きできるように、利用者のニーズに耳を傾け個々にあった支援を続けてゆきたいと思っています。

# 培った経験を発揮した 最高のGP2デビュー!!

左近選手の内に秘めた、高い潜在能力を確信

BCN Competition Team

## 山本左近

Sakon Yamamoto

Photo/IMAHARA Taro (TIPP)





GP2デビューとなったバレーンでの第一戦（14日）と第二戦（15日）。左近選手は確かな技術と安定した走り、チームの予測をはるかに上まわる（第一戦：14位、第二戦：14位）結果を残した。

これは、他のチームに比べて準備が遅く、圧倒的に不利な開幕戦だと各メディアで言われてきた中で最高の結果である。特にスタート直後の大クラッシュに巻き込まれたときは、F1で培ったテクニックと冷静な判断力を見せつけ、見事にノーダメージでピンチを切り抜けた。

その後のレース運びが見事だった。チームのエンジニアやスタッフ自身が準備不足を認識する中、左近選手はこのチームでレースをする喜びを素直に表し、チームのみんなを励まし、そして確実なドライビングで期待に応えた。危なげない走りで見事に順位を上げ、チームのモチベーションを高めていった。

チームの社長エンリケ・スカラプロ二氏も、私は本当に満足しています。全てのエンジニア達も良い感触をつかんだでしょう。これからもっといい結果が出てくると思います。左近選手は、最高の結果を出すための、高い潜在能力があります。」とレース後に左近選手を絶賛していた。

戦	開催日	開催国・開催地
Rd.01	04/15	バーレーン
Rd.02	05/13	バルセロナ
Rd.03	05/26	モンテカルロ
Rd.04	07/01	マニクール
Rd.05	07/08	シルバーストーン
Rd.06	07/22	ニュルブルクリンク
Rd.07	08/05	ブダペスト
Rd.08	08/26	イスタンブール
Rd.09	09/09	モンツァ
Rd.10	09/16	スパ・フランコルシャン
Rd.11	09/30	バレンシア

Schedule of Sakon



そしてなんと、直後に行われたF1 GP決勝では現地レポーターとして、とてもレース直後とは思わせない元氣な姿でレポートを行った。テレビをご覧になった方々も、左近選手のタフさと多彩な才能に驚いたことだろう。

左近選手の高いポテンシャルを武器に、BCNコンペティションは残りの20戦をどのように戦うか、非常に楽しみになってきた。今回のように確実に順位を上げながら完走するという守りのレースから、前へ前へと攻めるアグレッシブなレースに変わるとき、左近選手の本当の能力が発揮されるだろう。このチームで最高の結果をつかむため、まずはチームの闘志に火をつけた左近選手。今後の戦いから目が離せない!!



今年のレシングスーツは赤



ドライバーを紹介するタペストリーの前で

# 施設長直筆の書で 季節感を



ジュゲム施設長・金井芳之

一時は人心を惹きつけ、咲き誇った桜もやがて散り、人心は自然と離散してゆく。昔からこのようなものの哀れはよく歌に詠まれてきた。例えば、「盛者必衰のことはりをあらわす」や「驕れる者久からずや」など。しかし自然はまたそれに替わって人を慰めてくれるものである。桜ほど派手さはないが、桜の後塵を拝す花水木は何となく気品を感じさせ、季節の移り変わりを表しているようだ。ちなみに花水木は1915年、東京市長の尾崎行雄がワシントン市に桜を寄贈したお礼にアメリカから送られたものである。どちらも国花ではないが、桜の散った虚しさを暫し和らげてくれる貴重な脇役でもある。人も暫しかくありたいものだ。

逝く桜  
眺めろ咲く  
花水木



## さわらび日記

(19・3・10)

■福祉村病院・ジュゲム  
3月16日 明長信敬交換会「医療ケアホームについて」に理事長出席

3月16日 社会福祉法人理事会「書籍グランドホテル」に理事長出席

20日 八田小学校同窓会入会式に理事長が同窓会長として出席

22日 さわらび会合同入社式「あけあい小ホール」に理事長出席

23日 ネットワーク認知士養成講習会にて伊対弘之副院長が認知症について講演

24日 社会福祉協議会理事大会評議員会に理事長出席

27日 インド福祉村抑事会に理事長出席

29日 AED取扱説明会

30日 早稲田集会「理事長出席」

4月5日 豊橋市社会福祉協議会主催介護者教室にて伊対弘之副院長が認知症の介護について講演

6日 ライオンズクラブ合同例会に理事長出席

10日 ソノト食親会に理事長・院長出席

12日 豊橋市医師会在野医協委白へに理事長出席

14日 出前ジュゲム幹事会

19日 さわらび大学「認知症の介護」伊対弘之副院長が「認知症高齢者の身体状態把握の仕方と石段のポイント」について講演

20日 ケンマネ邸へ「白井」名古屋

21日 豊橋市介護保険関係事業推進委員会へ「施設長・石川・白井・淺見・島山」ライブホスト出演

22日 さわらび共家族会総会

27日 はりほら家族会総会

28日 身体拘束防止事例報告検討会(田沼名古屋)

29日 愛知県グループホーム連絡協議会第6回役員会(施設長 名古屋)

30日 愛知県議会議員選挙不在者投票

4月3日 消防訓練

5日 愛知県議会議員選挙不在者投票

10日 サンライン創立20周年・サンピジョン創立10周年式典出席(施設長 名古屋)

13日 泉社協第一回経営制度委員会(施設長 名古屋)

18日 貯水地点検

19日 豊橋市介護保険関係事業推進委員会(白井・栗部・石川)

20日 全国老人福祉施設協議会理事會・代議日協会(山本施設長 栗部)

22日 豊橋市介護保険関係事業推進委員会(栗部・栗部・石川)

26日 全国介護協議会大下副会長・委員長会議(山本施設長 栗部)

27日 泉社協第一42回理事會・具済会理事會評議員会(山本施設長 栗部)

## さわらび大学講座案内

☆参加費無料で、どなたでも受講できます

- 5月10日(木)「大腿骨骨折の予防」  
福祉村病院 医師 古谷 愛晴
- 5月24日(木)「利用者への共感理解と傾聴」  
軽費老人ホーム若菜荘 施設長 武田 和敏
- 6月14日(木)「目で見る脳疾患」  
長寿医学研究所 所長 堀 映
- 6月28日(木)「転倒予防」  
さわらび地域包括センター 軽費老人ホーム若菜荘

※さわらび大学の開催は、第2・4木曜日の開催です。時間は午後3時～4時。会場は、福祉村病院会議室です。尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

●お問い合わせ・受講申し込み  
軽費老人ホーム若菜荘  
☎ (0532)48-1138  
FAX (0532)48 2365

## 利用者・家族・施設がひとつになって

明日香の

## 甘夏収穫作業



開催日	開催内容
11日	豊橋市介護保険事業者等連絡会第1回 証書授与式(山本施設長 名古屋)
12日	全国老人福祉施設協議会(日本介護支援協会トップセミナー) 特定非営利活動法人日本介護支援協会 総会 全国介護政治連帯会(山本施設長 東京)
13日	全国老人福祉施設協議会役員会(山本施設長 東京)
3月23日	「個人情報保守秘訣について」施設内研修 豊橋市障害者自立支援協議会相談支援専門部(田中 松井)
27日	豊橋市障害者自立支援協議会相談支援専門部(田中 松井)
4月5日	豊知親身介護者協議施設長役員会 施設長(名古屋)
9日	家族役員会
11日	自治会
13日	豊橋フリースタイル打合わせ(鈴木 あいトピア)
15日	家族役員会
3月16日	管内兼務士会議(豊橋 市役所) 施設長会議(鈴木 施設長 施設長)
19日	施設長(鈴木)
20日	菜牛会
22日	全老連協 施設長進歩員出席(施設長 奥田)
23日	右菜会定期総会 インド福祉村協会 臨時総会(施設長 福祉サービス会)
4月2日	各階別会議
3日	仏具磨き
4日	県議選不在者投票
5日	サンライズグループ(記念式典(施設長 名古屋))
6日	花祭り・若菜会役員会
12日	滋賀県牛土交歓会・全国老協日本介護支援協会トップセミナー(施設長 東京)
13日	若菜会地域活動口・懇談会
3月17日	■あかね荘 愛知県社会福祉士会理事会(施設長) 可知病院友の会による荘内カプス拭き グループホーム会議 理事兼任(浅倉さん)
20日	社会福祉士会総会(施設長 名古屋)
3月17日	■若菜荘 管内兼務士会議(豊橋 市役所) 施設長会議(鈴木 施設長 施設長)
19日	施設長(鈴木)
20日	菜牛会
22日	全老連協 施設長進歩員出席(施設長 奥田)
23日	右菜会定期総会 インド福祉村協会 臨時総会(施設長 福祉サービス会)
4月2日	各階別会議
3日	仏具磨き
4日	県議選不在者投票
5日	サンライズグループ(記念式典(施設長 名古屋))
6日	花祭り・若菜会役員会
12日	滋賀県牛土交歓会・全国老協日本介護支援協会トップセミナー(施設長 東京)
13日	若菜会地域活動口・懇談会
3月17日	■あかね荘 愛知県社会福祉士会理事会(施設長) 可知病院友の会による荘内カプス拭き グループホーム会議 理事兼任(浅倉さん)
20日	社会福祉士会総会(施設長 名古屋)
3月17日	■明日香 家族役員会 風情色高柳台ハーリー・カクラノ米荘 県庁懇談会(施設長 名古屋)
22日	施設長(鈴木)
30日	樹如し休米
4月6日	蒲郡アピタにて取浴(3日)
10日	自治会
11日	福祉協会の二役会(施設長)
4月1日	家族役員会・総会 隣居者「ロニー」にて研修(鈴木・白色) 支援センター会議 地域支援会議 福祉協会二役会(施設長) スイートピー釣り 豊橋フリースタイル打合わせ(鈴木 あいトピア)
4月30日	伊勢路急ぎ接待 アケティ班作業用活動 地域支援会議
27日	豊橋市障害者自立支援協議会相談支援専門部(田中 松井)
25日	豊知親身介護者協議施設長役員会(山本施設長 東京)
24日	ボランティア活動口 アニス協会総会(施設長) 豊橋市木人シンポジウム(施設長・池田 名古屋)
23日	福祉協会評議員会(施設長 奥田)
22日	ワークショップ班作業用活動 豊知親との懇談会(施設長 奥田)
22日	福祉協会評議員会(施設長 奥田)
24日	ボランティア活動口 アニス協会総会(施設長) 豊橋市木人シンポジウム(施設長・池田 名古屋)
25日	豊知親身介護者協議施設長役員会(山本施設長 東京)
27日	豊橋市障害者自立支援協議会相談支援専門部(田中 松井)
28日	伊勢路急ぎ接待 アケティ班作業用活動 地域支援会議
30日	豊橋市障害者自立支援協議会相談支援専門部(田中 松井)
4月1日	家族役員会・総会 隣居者「ロニー」にて研修(鈴木・白色) 支援センター会議 地域支援会議 福祉協会二役会(施設長) スイートピー釣り 豊橋フリースタイル打合わせ(鈴木 あいトピア)
4月3日	伊勢路急ぎ接待 アケティ班作業用活動 地域支援会議
4月4日	豊橋市障害者自立支援協議会相談支援専門部(田中 松井)
4月9日	豊知親身介護者協議施設長役員会(山本施設長 東京)
4月10日	豊橋市障害者自立支援協議会相談支援専門部(田中 松井)
4月16日	■各施設共通 朝倉借時交換会 社会福祉法人理事会(豊橋グランドホテル) さわらび会若菜会・福祉村福祉村担当者会議 入社式(ふれあいホール) さわらび会若菜会担当者会議 豊橋中央高校運動部顧問会(ふれあいホール) 防災担当者会議 福祉村グリーン運動 栄華一会議



福祉村病院 副院長  
伊弉弘之



霊場めぐり第 10 日の三日日の最終日は第十八番母養山（ほようざん）恩山寺（おんざんじ）から。この寺は山裾にあり境内には石段が多い。

延暦年間に弘法大師がこの寺で修行をしていた時、母の玉依御前が息子に会いに来た。当時この寺は女人禁制であった。大師は山門の近くで十七日間女人禁制を解く秘法を行い、母を境内に招き入れ孝行をつくした。親の恩を感じる寺である。

第十八番恩山寺から第十九番橋池山（きょうちざん）立江寺（たつえじ）まで約五キロ。車で二十分程度。四国霊場には四つの関所寺があり、

この立江寺はそのひとつ。関所寺では、心がけの悪い人は山門から先に進めなくなるという。

石見の桜屋銀兵衛の娘お京は大阪で要助という男と



夫婦になり故郷へ帰った。ところが身持ちの悪い夫に愛想をつかし、鍛冶屋長蔵と密通する仲になった。それが夫に知られ責められたので、お京は長蔵をそそのかして夫を亡きものとした。お京と長蔵は讃岐の丸亀で世帯を持ったが、お京は要助の亡霊に悩まされた。二人は四国遍路の旅に出た。立江寺で参拝していると突然お京の黒髪が鉦（かね）の緒に巻き上げられてしまった。住職に悪行を懺悔するとお京は頭皮と髪が鉦に残ったまま開放され命拾いをした。このお京の髪がついた鉦は今も残っている。

親に迷惑をかけてばかり、家族に苦勞をかけたばなしの私は立江寺の山門を通れるか、本当に不安になった。「お父さんはほうずだから、髪が鉦に巻き上げられる心配がないからいいね」と中一の娘が笑った。

「まじりん」つながる地域の輪

「地域に開かれた施設づくりを」との事業運営目標の一環として、さわらび地域包括支援センターとグループホームはりはらでは、地域の老人会会長さんと連携をとり、その会合に職員が出向いて、実施しているサービスマニュアルについての説明や質疑応答をさせていただいています。

その交流の中から、会合に参加された近隣の方が、「そのような施設なら是非私も何かお手伝いを」と、この三月からグループホームはりはらにボランティアとして来てくださるようになりました。

利用者の方といっしょに花を植えたり、雑談をされたりと、少しずつですが交流を深めています。だいていいます。こうした方が一人でも多く来てくださることで、地域との交流の輪を広げていければと思います。



**さわらび会後援会  
寄附ご芳名**

・H19・3・15〜4・14

- 市内牧野町九〇 伍千円
- 小松ウメ氏
- 市内上地町一四四
- リビングライフオオクボ
- 市内東雲町四七
- 梅村敬夫氏 壹萬六千円
- 市内八舟町二二
- 藤三恵薬品 貳万円
- 名古屋南区豊兵衛町二丁目二二一三
- ハヤシリハビリ株式会社 壹万円
- 市内東雲町四六
- 兵藤商店 壹萬貳千円
- 新城市南畑七四
- 光田屋株 壹万円
- 市内大清水町字常上見八〇四一
- 藤松谷建設 壹万円
- 市内小池町三六一
- 共和印刷株 伍千円
- 市内高塚町神田六八
- 田京敏明氏 伍千円
- 市内中岩田三丁目一三
- 白井良治氏 壹千円
- 豊川市正岡町胡麻田七三二
- 勝マルスホームデザイン 伍千円
- 市内弥生町西豊和九一九
- 林 昭氏 壹万円
- 市内登町三〇
- 韓中野新松商店 壹万円
- 市内瓜郷町前川五〇一一
- 鈴木弘生氏 壹万円

- 市内東新町三一四
- 韓日医上新和 壹万円
- 市内間屋町一五五
- 勝スズケン 壹万円
- 市内東田町一五四
- 磯竹田商店 壹万円
- 市内飯村北二丁目二六一六
- 滝川器械店 壹万円
- 市内東鵜三丁目一七
- 森田山利子氏 壹万円
- 市内白河町一〇〇
- 中部ガス株 壹万円
- 市内神野埦頭町二
- 神野臨海株 壹万円
- 市内野依町山中一九一四
- 福祉村病院職員有志 四千元
- 名古屋市區名希望氏
- 匿名希望氏 壹万円
- 匿名希望氏 壹万円
- 匿名希望氏 壹万円

市内東新町三一四  
韓日医上新和 壹万円  
市内間屋町一五五  
勝スズケン 壹万円  
市内東田町一五四  
磯竹田商店 壹万円  
市内飯村北二丁目二六一六  
滝川器械店 壹万円  
市内東鵜三丁目一七  
森田山利子氏 壹万円  
市内白河町一〇〇  
中部ガス株 壹万円  
市内神野埦頭町二  
神野臨海株 壹万円  
市内野依町山中一九一四  
福祉村病院職員有志 四千元  
名古屋市區名希望氏  
匿名希望氏 壹万円  
匿名希望氏 壹万円  
匿名希望氏 壹万円

その他匿名希望多数の方より  
ご寄附頂きました。

計 貳拾四萬參千円

現在までにご寄附いただきました  
した金額は  
八億零千參百九拾四萬  
參千八百六拾六円

**インド福祉村協会  
寄附ご芳名**

・H19・3・16〜4・14

- 名古屋市中区新栄一七一二
- 東海労働金庫 四千參百円
- 名古屋市区昭和区山花町五〇
- 名古屋市昭利区山花町五〇
- 医療法人 生寿会
- 理事長 酒井宏氏 伍万円
- 安城市東栄町一〇一三
- 七鶴会 伍万円
- 静岡県浜松市葵西四一三二一八
- 山本千波氏 參千円
- 静岡県浜松市古一三五一一六
- 宮地邦枝氏 參千円
- 静岡県浜松市稲志町一六七四
- 富永直子氏 壹千円
- 小牧市藤島一丁目一八八
- 藤島住宅 壹千円
- 堀春男氏 壹千円
- 三重県桑名市額田六一
- 伊藤清信氏 伍万円
- 瀬戸市原山台八二三四
- 大竹純一氏 壹拾萬零千參百七拾四円
- 市内浪の上町七一
- 山本ゆかり氏 壹万円
- 名古屋市中区天伯区池場三三〇七
- 水谷康子氏 壹千円

名古屋市中区新栄一七一二  
東海労働金庫 四千參百円  
名古屋市区昭和区山花町五〇  
名古屋市昭利区山花町五〇  
医療法人 生寿会  
理事長 酒井宏氏 伍万円  
安城市東栄町一〇一三  
七鶴会 伍万円  
静岡県浜松市葵西四一三二一八  
山本千波氏 參千円  
静岡県浜松市古一三五一一六  
宮地邦枝氏 參千円  
静岡県浜松市稲志町一六七四  
富永直子氏 壹千円  
小牧市藤島一丁目一八八  
藤島住宅 壹千円  
堀春男氏 壹千円  
三重県桑名市額田六一  
伊藤清信氏 伍万円  
瀬戸市原山台八二三四  
大竹純一氏 壹拾萬零千參百七拾四円  
市内浪の上町七一  
山本ゆかり氏 壹万円  
名古屋市中区天伯区池場三三〇七  
水谷康子氏 壹千円

計 貳拾七萬四千六百七拾四円

**募金方法(インド福祉村)**

- 振込先
- 郵便振替・郵便振込
- 口座番号
- 〇〇八三〇一六一六五〇〇八
- インド福祉村協会
- 〒愛知老人ホーム若菜荘
- 連絡先
- 電話四八一一二二八まで



**福祉コンビニは、24時間365日  
いつでもどなたでも  
お気軽にご利用いただける  
在宅福祉サービスの拠点です**

「24時間365日いつでもどなたでも、お気軽にご利用いただける在宅福祉サービスの拠点」として、ご家族での介護や施設の利用など、高齢者や障害者に必要な福祉サービスの利用についてお手伝いいたします。

どんな些細なことでもかまいません。専門スタッフが24時間365日対応させていただきます。

- 高齢者・障害者の皆様、ご家族の安心をサポートします
- 医療・福祉に関することに困ったらお気軽にご相談して下さい。

☎(0532) 69-5666 ㉟(0532) 69-5787  
相談メール combini@sawarabi.or.jp

**お礼コーナー**  
ありがとうございました

▼伊勢路様  
忌食招待※(あかね荘)

▼大原厚男様  
わけぎ寄贈※(あかね荘・明日香)

※印は当協賛銀行を通じて

# 原風景・土に生きる



●陶芸:「みどり」 手塚吉一(あかね荘)  
写真:新城市鳳来地区「四谷の千枚田」

みんなの力でみんなの幸せ

2007年5月1日発行 早版 第409号

(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)

充実した医療と福祉

- 特別養護老人ホーム さわらび荘  
☎(0532)54-3501
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウスカサデローザ  
☎(0532)37-1209
- 経費老人ホーム 若葉荘  
☎(0532)48-1138
- 身体障害者福祉施設 珠蔭荘  
☎(0532)47-1050
- 知的障害者更生施設 あかね荘  
☎(0532)48-2825
- 福祉村病院  
☎(0532)46-7511
- 知的障害者福祉施設 明日香  
☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね  
☎(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町)  
☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生  
☎(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原  
☎(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 シュテム  
☎(0532)46-7501



社会福祉法人 さわらび会

編集責任者: 武田前敏 (印刷: 共和印刷) 定価: 100円

■表紙作品: 五彩龍鳳文蒔頭瓶 明時代 万暦年月 カサデローザ 古瀬てつ

## 編集後記

福祉村の東の入り口にある郵便局の角を曲がると、陽春の日差しにきらきらと輝く木々の緑やつつじの花が目に飛び込んできます。そして、福祉村の中央を通るみんなで名付けた希望通りの坂を下ると、病棟と病棟の間にハナミズキの花が、療養している皆さんをそっと見守るように咲いているのが見えてきます。

各施設の花壇では、チューリップや藤の花などが彩りを添えてくれています。福祉村で暮らす皆さんも爽やかな天気に誘われて散歩を楽しみ、福祉村公園の芝生広場では、福祉村保育園の子どもたちが元気に遊んでいます。そんな人も風景も輝くこの季節の福祉村が私は好きです。

(武田)